



社会福祉法人

るうてるホーム 法人報

聖書の教えに従って
お客様を敬い、
お仕える

笑う門には福来たる

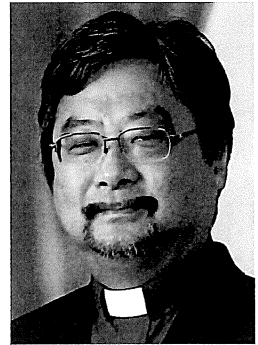
COVID-19 感染拡大防止のため私たちのホームでも 3 月から特別な事態の中に置かれました。4 月 7 日の「非常事態宣言」は大阪府では 5 月 21 日に解除。次第に日常生活が戻りつつあるものの、依然として予断を許しません。職員たちの頑張りには頭が下がります。礼拝も 3 ヶ月間休止となりました（ユニットによって自主的な祈りが守られましたが）。礼拝を守れない状況はホーム創立 55 年にして初めてでした。私たちは注意深く、しぶとくしなやかに、そして賢くこの現実に対処してゆきたいと思います。感染拡大を抑えるために①マスク着用

②丁寧な手洗い（誕生日気分「ハッピーバースデー」を 2 回歌うと 30 秒です）③アルコール消毒の徹底④「三密（密閉、密集、密接）」を避ける⑤不用意に顔に手を近づけない⑥他者との距離を確保する等々、注意事項が増えました。しかし最終的には私たち自身の「免疫力」を高く保つことが求められます。そのためにどうすればよいか。バランスのよい食事、質の高い睡眠、適度な運動、ストレスの少ない穏やかな生活が大切であることは当然ですが、私はそこに「笑顔とユーモア」を加えたいと思うのです。積極的に何か楽しいことを考え、それを分かち合うことで私たちの免疫力は高まります。

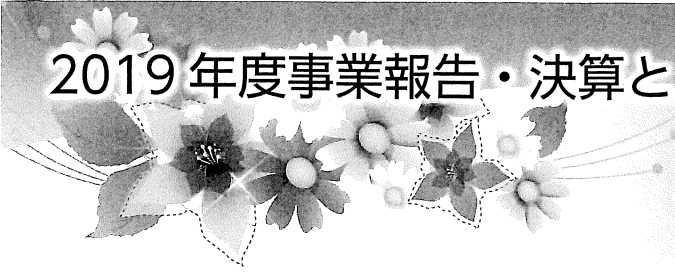
30 年ほど前、「ガンの生きがい療法」でよく知られた倉敷の柴田病院を訪ねたことがありました。患者さんと医療スタッフとボランティアとで「モンブラン登山」を実現したことで有名になりました。仏教の教えを大切にしつつ「生きがい」を持つことで免疫力を強め、ガンの 5 年生存率を高めることが目指されていたのです。院長先生の話では「生きがいなどの闘争心をもって積極的にガンと闘う人」の生存率が一番高いのだそうです。逆に一番低いのは「諦めてしまう人」。その次に低いのが「宗教的な悟りを開いた人」と言われ、牧師として複雑な思いになりました。もちろん、そこでは「生存率」だけでなく「QOL（生活の質）の高さ」ということも考慮されるべきでありましょう。

もう一つ印象に残ったことがあります。「死の準備教育」で有名なデーケン神父も笑いユーモアの効用を強調されますが、そこに集まった人が最近腹を抱えて笑ったことを順番に分かち合っていたことでした。仏教の「無財の七布施」という教えには「和顔施（笑顔施）」という語もあるそうです。確かに「笑顔」は私たちの心を慰めてくれる。懐かしい方々を思い起こす時に、私たちが思い出すのはその笑顔と笑い声ではないでしょうか。それほど「笑顔とユーモア」は大切なのです。

現在ホームでは「RO 委員会」が始動しています。「るうてるをおもしろくする」という意味で命名された委員会です。この夏からはホームのウェブサイトが新しくなることも楽しみの一つです。と一緒に笑顔とユーモアを分かち合いたいのです。「笑う門には福来たる」のですから。



理事長
大柴 譲治



2019 年度事業報告・決算と 2020 年度事業計画

常務理事 石倉 智史

2019 年度は中期経営計画のまとめに向けて取り組む一年となりました。安心して働き続けられる職場環境の整備を重点的にすすめ、介護ロボットやリフトの導入、時間外労働の削減、有給休暇や育児休暇の取得促進（年度末までに女性 2 名、男性 1 名）などを行ってきました。またホームの広報を担当する新しい委員会として、RO（るうてるを面白くする）委員会を立ち上げ、ホームページのリニューアルに向けた検討を行いました。

事業推進面では昨年度のデイサービスに続き、特養が第三者評価を受審しました。特養としては約 10 年ぶりであり、ユニット型に変更されてから初めての受審でしたので、課題が明確になり改善に向けて取り組みをすすめることができました。地域に対しては、認知症サポーター養成講座を 5 回開催し、120 名を超えるサポーターを養成しました。

2018 年度から続けている南海トラフ大地震を想定した災害対策ですが、19 年度は経済産業省の「石油ガス等災害バルク導入補助金」を利用して LP ガス発電機を設置。電気、ガス配管の整備を行い、ナースコール、館内ネットワーク、電話設備の電源バックアップやおよび非常用照明、非常用コンセントを各フロアに設置することができました。また大阪府の補助を受けて、カセットガス式ポータブル発電機を 5 台購入しました。

2020 年度は中期経営計画の最終年となります。継続的に取り組む項目の検証など計画の進捗を評価し、次期中・長期経営計画の立案にむけて取り組みます。

次期計画は今後の社会保障制度や人口動向の変化に対応していく視点が必要不可欠です。同時に事業継続のための人材確保、育成に関しても最重要課題として取り組み続けることが必須となります。2020 年度は幹部候補者の育成を通じて組織体制の強化を図り、経営ビジョンの共有や事業部間連携を通じた新しいサービスの在り方について検討を重ねていきます。またホームページのリニューアルが今夏に予定されています。サービスのよりよい広報を通じて利用される方々が増え、魅力を発信することで働きたい方が増えていくことを期待しています。

経営面ではまだまだ改善すべき課題も多く、現状の分析と対策を細やかな視点で評価していくことが求められています。ホームに関わる一人ひとりの英知を結集し、この困難な時代を乗り越えるべくワンチームとなって挑戦していく一年といたします。

2019年度決算概況

(2020年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	320,967	流動負債	81,420
現金預金	234,037	事業未払金	17,101
事業未収金	83,892	短期設備資金借入金	51,312
立替金	1,096	賞与引当金	13,007
前払費用	1,942	預り金等	0
		固定負債	1,155,891
		設備資金借入金	1,119,476
		退職給与引当金	36,415
固定資産	1,987,446	負債の部合計	1,237,311
基本財産	1,430,996	純資産の部	
土地	534,814	基本金	815,533
建物	896,182	国庫補助金等特別積立金	287,769
その他の固定資産	556,450	その他の積立金	180,616
建物付属設備・構築物	218,274	次期繰越活動増減差額	△ 212,816
車両運搬・器具備品等	19,621	(うち当期活動増減差額)	△ 32,318
投資有価証券	100,000		
積立資産等	217,071		
その他の固定資産	1,484	純資産合計	1,071,102
資産の部合計	2,308,413	負債及び純資産の部合計	2,308,413

事業活動計算書の要旨

資金収支計算書の要旨

(自)2019年4月1日 (至)2020年3月31日

(単位:千円)

科目		金額	科目	金額
サービス活動増減の部	介護保険収益	442,448	介護保険事業収入	442,448
	老人福祉事業収益	77,840	老人福祉事業収入	77,840
	就労支援事業収益	266	就労支援事業収入	266
	障害福祉サービス事業等収入	71,411	障害福祉サービス等事業収入	71,411
	医療事業収益	4,722	医療事業収入	4,722
	その他事業収益	342	その他事業収入	342
	寄付金収益	2,461	寄付金収入	2,461
	サービス活動収益計	599,490	受取利息	573
	人件費	438,979	その他収入	2,909
	事業費	72,445	事業活動収入計	602,972
	事務費	56,391	人件費	427,011
	就労支援事業	1,316	事業費	72,445
	利用者負担軽減	202	事務費	56,391
	減価償却費	69,108	就労支援事業	1,316
	国庫補助金積立金取崩額	△ 8,986	利用者負担軽減	202
	サービス活動費用計	629,455	支払利息	9,742
	サービス活動増減差額	△ 29,965	その他支出	82
	サービス活動外収入	3,482	事業活動支出計	567,189
	サービス活動外支出	9,854	事業活動資金収支差額	35,783
サービス活動外増減差額		△ 6,372	施設整備等収入	4,600
経常増減差額		△ 36,337	施設整備等支出	70,930
特別収益		4,600	資金収支差額	△ 66,330
特別費用		581	その他活動収入	4,145
特別増減差額		4,019	その他活動支出	3,142
当期活動増減差額		△ 32,318	資金収支差額	1,003
前期繰越活動増減差額		△ 180,498	当期資金収支差額	△ 29,544
当期末繰越活動増減差額		△ 212,816	前期末支払資金残高	333,410
次期繰越活動増減差額		△ 212,816	当期末支払資金残高	303,866

2018年度は「SNSプロジェクト」として活動し、「楽しいところに人は集まる」ということをメンバーと共有できていましたので、私たちの活動は委員会の目的、名称を考えることから始めました。様々なアイデアの中で満場一致で決まったのが「るうてるホームを面白くする委員会」ってどう?でした。そしてその頭文字をとってRO委員会となったのです。

この「RO」の意味をまわりに説明していくことが、委員たちの中に価値を落とし込むきっかけとなりました。実際、ホームの外でも名前のインパクトでアピールの機会を持つこともできました。

RO委員会の初ミッションはホームページ（HP）リニューアルです。どんなHPがいいだろう?メンバーが思い思いに、色々な業種、色々な社会福祉法人のHPを閲覧しました。他法人のHPを見たとき、「あっ真剣に遊んでる。遊べる余裕っていいね!私たちもこんな作りたい。面白がっていこう!!」と委員のみんなが前向きに意見交換を重ねていくことができました。

現在は何でもインターネットで調べられる時代です。私たちもアピールしていかないと情報社会に置いていかれてしまいます。大きな建物の中で何が行われているのか、利用者様、ご家族様、地域の方、未来の職員に発信していきたい…。るうてるホームの

良さ、価値を知ってもらいたいという思いでこれまですすめてきました。

そんな中で一番苦労したのが「老舗の冒険」というコンセプトの設定でした。「私たちには歴史がある。しかし留まる事なく次々と探求してきた」という思いがありました。古き良きものを守ってだけでなく、新しいものへ取り組んでいく姿勢を表し、るうてるホームらしいものに仕上げていくことができればと考えてきました。

新しいHPでは私たちの価値を自分たちで見だし、アピールしていきます。これからが正念場です。るうてるホーム全体で「面白がって発信していく」仕組みづくりをRO委員会が担っていきたいと思います。みなさまには是非るうてるホームのHPやSNSにアクセスしていただき、コメントをお願いいたします。一緒に育んでいただくことでもっともっと「面白く」なっていくと信じています。



※るうてるホームの新しいホームページは9月ごろ公開を予定しています。

後援会ご献金感謝報告

2019年4月から2020年3月までの献金総合計は、2,461,000円ございました。多額のご献金に感謝申し上げます。

今後とも皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

誤字・記載漏れがありましたら、お許しください。その旨お知らせできれば、幸いです。